
2つの空

栞

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

2つの空

【Nコード】

N0012Z

【作者名】

栞

【あらすじ】

おいらは一体どうなっちゃうんだ！？
魔界に住む小さな悪魔ハーフェスはひよんな事から天界に囚われる事になってしまい……。

1話 光に零れ落ちた闇

時は神代。天使と悪魔の戦いは創始より続いていた。

秩序を重んじる天界の王セイクリッドと万物の解放を願う魔界の王イヴェントは互いに一步も譲る事無く、血で血を洗う愚行を繰り返していた。

繰り返される争い。互いが互いの信念の為に剣を振るい、杖を握る。その戦火はやがて神ですら消し去る事の出来ないほど、大きなものになりつつあった。

「う……う……う……」

………少しずつ、少しずつ。意識が浮上して来る。

何が一体、どうしたのだろう。

確か、いつものようにお使いを頼まれて森の近道を通って……？

………。それから、どうしたっけ………？

ハーフェスは重たい瞼を必死に押し上げて、手の甲で片目を擦った。

「んっ………」

「うん？ああ、……目を覚ましましたか」

聞こえた声に驚き、ハーフェスは跳ね起きた。

聞き慣れない声。格子の向こうに佇むのは長い黄金色の髪と董色の眼の長身の男性の姿。

そしてその背に在るのは……純白の翼。

「!?!?……て、天使っ!?!」

思わず後ずさればすぐに壁に背が当たった。

鏡のように磨かれた壁に映るハーフェスの姿。

短い黒色の髪と夕陽色の眼。そしてその背には、小さくも確かな、悪魔の翼がある。

そう、ハーフェスは悪魔だ。そして彼は天使。つまり

敵だ。

慌てた声を上げたハーフェスに天使の男性がにこりと笑い。

「ああ、驚かせてしまいましたか。……そんなところに閉じ込めておいて説得力ありませんが……。そう、怖がらなくても大丈夫ですよ」

「ホントに説得力無いしっ!……てか、こっから出せ!おいらをどうするつもりだよっ」

「元気はあるようですね、良かった」

檻の前に移動して来た男性にハーフェスがぎくりと顔を強張らせた。

「檻に入れたのは天界の法律ですので、そこは我慢して下さいね。」

貴方は天界と魔界の狭間に落ちて気を失っていたのですよ。……天界兵に見付かる前に保護出来て良かった」

「落ち……って」

「魔界兵ならまだしも、こんな小さな悪魔をどうこうするつもりはありませんから。安心なさい」

「……………」

思い出した。

森のなかで不意に現れた歪に落ちたんだ。

こいつは嘘を言っていない。

押し黙ってしまったハーフェスに男性が苦笑を浮かべ。

「すぐに帰してあげたいところですが、色々大人の事情もありまして。窮屈ですが、もう少し待って下さいね。それと 宜しければ貴方の名前を伺いたいのですが」

「……っ……」

「ああ、失礼。私が先に名乗るべきでしたね。私の名前はオーレスティア。しがない学者をやっております。貴方は？」

「！」

咄嗟に尋ねられ、ハーフェスが唇を噛み締めて俯いた。様子にオーレスティアが苦笑を浮かべ。

「………気持ちが悪く落ち着いたら教えて下さいね。いつまでも名無しのままじゃお互い困りますから。食事は後々持って来ます。寛げる……場所ではありませんが、もう少しお眠りなさい。怪我は無くても歪に巻き込まれた際のダメージは身体に残っているはずですから」

にこりと笑った後、オーレスティアは部屋を後にしていった。ただ独り残されたハーフェスが呆然と閉ざされた扉を見詰め。

オーレスティア、だって？

聞いた事ある。天界の王セイクリッドの側近の名前じゃないか！
何て奴に捕まっちゃったんだ。
おいらこれからどうなるんだ。

「……………」

捕虜になった天使が魔界でどんな目に遭っているか、魔界に住む者なら大抵知ってる。

自分も、「そう」なるのか。

天使の言葉も笑顔も、信じられるものじゃない。何としても此処から逃げなければ。

でも、一体どうやって……………？

白と金を基調とした檻の内部を見回し。ハーフェスは溜息を零した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0012z/>

2つの空

2011年11月30日10時45分発行